

分類	良いところ	悪いところ	論点集約	伸ばす・改善するためには
<p>子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館、各地区に設置されていること ・ 自然が残っていて子どもを教育する環境としてふさわしい <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援が充実してきている ・ 支援センターの充実 行事、相談業務 ・ 支援センターの役割 ・ 子育ての自然環境が良い ・ 支援センターにおけるボランティア活動 ・ 子育て支援の充実 集まり情報交換できる場 ・ 生まれてから18才までの継続支援がされる ・ 子育て支援センターが新しくなり充実している ・ 東御市のすくすく広場などの取り組みが魅力的。市に来るきっかけに 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館、児童クラブの規模などから預かれる年齢が限られている ・ 子育て中の専業主婦の70%が孤独・孤立感を抱えている。(国アンケート) <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援と教育課のたてわり行政が気になる ・ 子育て支援のための具体策が不足？ ・ 近所以外のセンターに関する情報が手に入らなかった ・ 支援センターでの相談はたらいまわしになることも多い 	<p>◎地域子育て支援ネットワークの確立（仮称）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>児童館や支援センターに運営やボランティアとして参加することで、親も育つことができるような仕組みづくり</u> ・ <u>子育て以外にも夫婦の問題、仕事、介護等、お母さんがざっくばらんに生活（生き方）全般について気軽に相談できる場があるとよい。</u> <p>◎子育て家庭を支える環境づくりの推進（仮称）</p> <p>◎子育て支援の核となる子育て支援センター機能の充実（仮称）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>保健センター、教育課、子育て支援センターの連携</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>子育てセンター等の情報を市からの検診の通知と一緒に送れば全ての人に周知できる。</u> ・ <u>支援センターで何をしているか、どのようなイベントがあるか、スーパーなどお母さんの目に触れやすい場所に張り出す。</u> ・ <u>インターネットを使いこなすお母さんが多いので、必要な情報をタイムリーに発信する。</u> ・ <u>支援センターは、相談の内容に応じて、より専門性の高い相談窓口へつなげる司令塔としての役割を担う</u>

分類	良いところ	悪いところ	論点集約	伸ばす・改善するためには
<p>保育・幼児教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の整備がされ、未満児を持つ親が安心して授けられる ・ 特別保育の充実がより一層進む(延長保育、病児病後児保育、土曜・休日保育) ・ 保育園に入りたくても入れない人がいない ・ 保育園の先生が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の芝生の管理が大変そう ・ 地域の保育園へ通わせたいが、遠くの幼稚園に通わせている ・ 私立の幼稚園が少なく選択肢に欠ける ・ 私立幼稚園の良さとは？(教育に重点を置いているところ?) ・ 子どもの成長と発達段階について、親の知識がない ・ 病児・病後児保育などの特別保育を実施していることを知らなかった ・ 保育園の入所基準(「保育に欠ける」子どものみ、母親の就労時間 5h/日・週 20h 以上、収入に応じた保育料、年長は要件なしで利用可 等)が意外と知られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ◎質の高い幼児教育・保育の実践(仮称) ◎家庭の子育て力の向上のための“親育て”の推進(仮称) ◎子育て情報の発信と共有化の推進(仮称) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>幼稚園や保育園などのハードは人口に対する適正な規模で維持していき、運営などソフト面は保護者や地域の人たちの支援で充実していく。</u> ・ <u>保育料の軽減等の経済的支援</u> ・ <u>子どもの年齢別の発達段階表(0歳では～ができる)をもっとPR、活用する。</u> ・ <u>子育ての悩みをきめこまやかに聞く相談や、子育てに関する知識・知恵を伝える場(講演会や学習会)があるとよい。</u> ・ <u>健康診断についての指導。0才児健診</u> ・ <u>保育、特別保育に関する基本的な情報をもっときめ細かに提供する。(ホームページで掲載はしているが)</u>
<p>小・中・高 (不登校対策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対策として、カウンセリングや相談、学校応援団による支援やお迎えが行われている。 ・ 「笑顔で登校支援事業」は国からの補助が終了したが、市の独自事業として、いじめや学力向上とともに、取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登校拒否の子への教育のあり方、対応 ・ 不登校が少なくない ・ 登校拒否の子ども達への対応 ・ 教育現場の問題 小・中・高等学校におけるいじめ等の現況及び対策？ ・ 不登校児への対応 ・ 生徒指導より親指導が必要ではないか？ ・ 不登校(30日間の長期欠席)が県ワースト ・ 不登校児・生徒の親ほど支援や相談などの情報が届きにくい ・ 非行発生率が県内ワースト1だったことも。(人口規模が小さいため、1~2人出ただけでも%が大幅増加してしまう。) ・ 不登校は全体の4%→今年度3%に改善。県内1のマンモス校である東部中に多い 	<ul style="list-style-type: none"> ◎教育相談の充実とニーズに応じた支援体制の確立(仮称) 	

分類	良いところ	悪いところ	論点集約	伸ばす・改善するためには
<p>小・中・高 (通学・学習環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通学路のグリーンゾーンはいいことだと思う 見守り隊が充実している 学校、地域、保護者が子供を見守り支える(地域見守り隊、おやじの会、親子文庫) 教育のための施設が整っている 中学校が新しく、きれいで、ゆったりしている 障害を持った子への配慮がされる。(幼・保・小・中の連携の充実) 教育現場の職員数の確保 小人数学級の充実 大きな学校に馴染めない子が越境通学を選択 学校給食が地産地消に役立っている 自校給食が中心である 給食の地産率50%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 学校への登下校のあり方 子供の数が少なく通学路等不安 10年以上も子供達が危険だと改善を申し入れている場所が改善されていない 事故が起きないと改善に乗り出さない 危険箇所については、継続して管轄の警察へ要望を上げているが、優先順位は上がっているもののなかなか改善に至らない。(が、優先順位は少しずつ上がってきている。) 中学校の規模が違いすぎる 幼・保・小・中の連携。教育現場での連続性の確保 高校への通学の負担が大きい 高校が古くてぼろい 東部町では、4小1中の連携、北御牧地区で小中一貫教育が開始された。いずれも協議会や推進委員会を設立し、児童・生徒、教職員、保護者、地域の連携が求められる 中学校の側に養豚場があり、悪臭がすごい。勉強に集中できるか？ 東中と北御牧中の越境通学の許可の統一はされているのか 越境通学は学校と保護者との話し合いにより可であるが、北御牧→東部への通学は認められていない。 	<p>◎地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり(仮称) ※「交通安全対策の強化」(仮称)として市民生活・環境専門部会でも検討中</p> <p>◎確かな学びを支える教育環境の整備(仮称)</p> <p>◎特色ある学校づくりの推進(仮称)</p> <p>◎豊かな心と体を育む食育の推進(仮称)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学区支部長や保護者より要望書を上げることで優先順位を少しでも上げていく。 ※子育て・教育専門委員会で意見をまとめ、その後「市民生活・環境専門委員会」へ意見具申することが必要と考えます。

分類	良いところ	悪いところ	論点集約	伸ばす・改善するためには
小・中・高 (部活・体罰)	<ul style="list-style-type: none"> 市は、一貫して体罰は絶対反対の立場。 小中学生を対象にアンケート調査を実施。その結果では体罰は認められなかった。 校長・教頭会で不祥事等の情報共有の徹底している 体罰やいじめの相談窓口を多く設置し、子ども達にもリーフレット等を配布し、周知を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学部活動のあり方 北御牧中は規模が小さすぎて部活が成立しない。 部活動の指導者の子供達にとっての対応のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ◎豊かな心と健やかな身体を育む教育の充実（仮称） ※「食育の推進」を本テーマに含めていくことも検討されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>体罰でなく、話して分かる子どもに育てるにも、やはり親支援が必要</u>
小・中・高 (学力向上)	<ul style="list-style-type: none"> CRT（標準学力検査）を継続的に実施することで、児童・生徒の学力の推移を分析している。 	<ul style="list-style-type: none"> 理数に課題あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎確かな学力を育む教育の推進（仮称） 	
今の子ども の現状		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちはいそがしい 言われたことはできるが、自分から進んで物事にとりくんでいない様だ。1を言って1ができるが、1を言って2・3…ができない。 もらうことに慣れすぎていて、感謝の気持ちや物を大切にすることがうすれている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎生きる力を育む教育の推進（仮称） 	
子どもの居場所・青少年 健全育成	<ul style="list-style-type: none"> 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成について親の無関心、無感心、無気力 青少年の居場所が少ない 田中駅などに深夜集まる子どもたち 子供の遊び場、NPO 減、市として児童館 小学生高学年の長期休暇、放課後の過ごし方 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもたちの安全で安心な居場所づくり（仮称） ※ 既に「東御市次世代育成支援対策行動計画・後期計画」のP93に計画されています。 ◎青少年の健全育成の推進（仮称） 	

分類	良いところ	悪いところ	論点集約	伸ばす・改善するためには
生涯学習 (生涯学習・スポーツ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習が多講座あり ・ 生涯学習の充実 ・ 学習講座のメニューが充実している ・ 生涯学習の講座が多数あり、参加しやすいと思う ・ 市民の生涯学習活動が盛んである ・ 各区に公民館があり、身近な場所で生涯学習にかかわることができる ・ 文化会館がそこそこ新しい ・ 文化会館の利用率 ・ 市内に文化会館があり、身近に文化に触れることができる ・ スポーツ施設が充実している ・ スポーツが盛ん 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高年の男性の生涯学習への参加が少ない ・ 文化会館自主事業 ・ メジャーな文化イベントは都市へ行かざるをえない ・ いい美術館があるのに、あまり知られていなくて残念 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人づくり、地域づくりにつながる生涯学習の推進（仮称） ◎スポーツ、芸術文化活動の推進（仮称） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域にある公民館の活用</u> ・ <u>文化会館の活用</u>
生涯学習 (図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい図書館 ・ 子供達が集中して勉強できる場所(図書館、勉強室)を整えた ・ 図書館内に市民の一息つける場所(飲食可)を作った ・ 絵本、児童書の蔵書が多い ・ 子供達が楽しんで読書できる環境(図書館)を整えた ・ 読み聞かせ(本、絵本)積極的に取り組んでいる ・ 市立図書館がきれいに新しくなって使いやすくなった ・ 市民の意見を反映→図書館の休日・祝日も営業に 		<ul style="list-style-type: none"> ◎学びを支える図書館機能の充実（仮称） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校3年生までの医療費無料化 ・ 市内でお産ができる ・ 小学校単位のまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的な観光資源の発掘、PRがまだこれから 	<p>→</p>	<p>他専門委員会へ付託したいと考えます。</p>